



NEWS RELEASE

2016年2月25日

アナログ・デバイセズ、極低レベルのエネルギー採取環境下にあるIoTアプリケーションにも業界最高水準のエネルギー効率を提供するエネルギー・ハーベスト用パワー・マネジメント・ユニットを発表

アナログ・デバイセズ株式会社

[アナログ・デバイセズ社](#) (NASDAQ : ADI) は本日、利用可能エネルギーが僅かな環境下でも、より短時間で効率的にエネルギー・ハーベスティングを行えるよう設計したパワー・マネジメント・ユニット (PMU) [「ADP509x」シリーズ](#)を発表しました。ADP509xは独自の回路設計によって、エネルギー・ハーベストで収集されたエネルギーを16 μ Wから100mWの電力に変換し、その間の動作損失をサブ μ Wレベルに抑えます。また、ADP509xは現時点で最速のコールド・スタートも実現します。エネルギーレベルの低い状況でエネルギー・ハーベストに依存するデバイス類の場合、起動に必要な量のエネルギーを蓄積するまでに時間がかかり、計測や加工、伝送といった機能の作動開始が大幅に遅れかねません。その結果、データの収集漏れや動作速度の遅延が生じ、利便性や満足度も低下してしまいます。ADP509x PMUは革新的なマルチパワーパス設計 (複数の電源ソース) によってこうした問題を解消し、起動時間を短縮してスムーズな動作を可能にします。

エネルギー・ハーベストは完全な自律型IoTソリューションを実現する鍵となるきわめて重要な要素技術です。ADP509xにより、バッテリー交換に非常にコストがかかるアプリケーションにおいて大幅なコスト削減を図れるだけでなく、バッテリー交換が不可能なものや現実的でなかったアプリケーションについても、数多くの新たなアプリケーションの可能性を生み出せるようになります。多くのアプリケーションが、太陽光エネルギーの採取が困難な低光量の屋内などきわめて低レベルのエネルギー採取環境下にあること、周期的に全くエネルギー採取が不可能な時間帯があることなどが、エネルギー・ハーベストの大きな障害となっています。このため、パワー・マネジメント・ソリューションにはごくわずかなエネルギーでシステムを十分に稼働できるようにするだけでなく、エネルギー貯蔵デバイスを効率的に管理して、エネルギーが全く採取できない間もエネルギー需要を十分に賄えるだけの電力を供給できるようにすることが求められます。

アナログ・デバイセズの産業IoT担当ゼネラル・マネージャーであるマイケル・マレー (Michael Murray) は次のように述べています。「ADP509xシリーズは、IoTを実現する新たな自律型アプリケーションの開発を大きく前進させるものと確信しています。当社はこれまで極めて革新的で効率的な太陽電池を製造するAlta Devices社をはじめとする各社との協業を通じて、最も効率的なエネルギー・ハーベスト部品の組み合わせによる新たな可能性を追求してきました。今回発表した製品は、従来のIoTアプリケーションにとって大きなメリットをもたらすだけでなく、eテキストスタイルをはじめとするウェアラブル製品のような新たなアプリケーションの製品化に際しても、これまで克服が困難とされてきた多くの障害の解消につながるものと考えています」

価格と提供時期

製品	サンプル出荷	量産出荷	1,000個受注時の単価	パッケージ
ADP5091	出荷中	2016年4月	2.49ドル	24 ピンLFCSP WQ
ADP5092	出荷中	2016年4月	2.49ドル	24 ピンLFCSP WQ
ADP5091-1-EVALZ	出荷中	2016年4月	49ドル (1ユニット)	評価用ボード
ADP5091-2-EVALZ	出荷中	2016年4月	49ドル (1ユニット)	評価用ボード
ADP5092-1-EVALZ	出荷中	2016年4月	49ドル (1ユニット)	評価用ボード

【関連資料】

- ADP509xシリーズの製品概要、データシートのダウンロード、サンプルと評価用ボードのご注文はこちらよりご参照ください。スペック、ブロック図、概寸、サンプル回路など詳細な技術資料・データは「データシート」(英文)に掲載しています。

<http://www.analog.com/jp/ADP5091.html>

- ADIのバッテリー・マネジメントの製品ラインナップはこちらをご覧ください。<http://www.analog.com/jp/products/power-management/battery-management/battery-charger-ic.html>

##

アナログ・デバイセズについて

アナログ・デバイセズは、半導体製品とソリューションを提供しています。1965年に設立され、世界をリードする信号処理技術で「アナログとデジタル」「夢と現実」との懸け橋を担ってきました。

「[想像を超える可能性を](#)」という新たなスローガンを掲げ、イノベーションを加速し、ブレークスルーを生むソリューションをお客様と共に切り拓いていきます。<http://www.analog.com/jp>

■本リリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先■

アナログ・デバイス株式会社 広報・宣伝部

電話 03-5402-8270 marcom.japan@analog.com

または

(株) プラップジャパン 担当：谷本、宮原

電話 03-4580-9109 analogdevices.pr@ml.prap.co.jp